

※利用者様は補修を行わず、補修については製品をお求めになった販売店にご相談ください。

第 8 版

AT-Cシリーズ メンテナンス・交換マニュアル



このマニュアルは必ずお読みいただき、大切に保管してください。

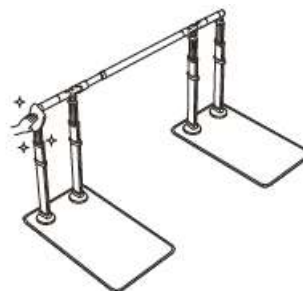
このマニュアルは必ず取扱説明書と合わせてよくお読みいただき、十分ご理解の上、マニュアルに沿って作業を進めてください。
なお、誤った交換などによるトラブルなどについては弊社は一切保証いたしかねます。

1. 通常メンテナンスについて

日常のお手入れ方法

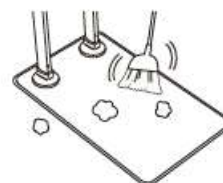
(手すり、支柱、ベースプレート部分)

- お手入れはやわらかい布で乾拭きするか、固くしぼった布で水拭きしてください。
- 汚れがひどい時は中性洗剤をしみこませたやわらかい布でふき、その後水拭きをしてから乾いた布で水分をきれいにふきとってください。



(滑り止めシート部分)

- 毛先のやわらかいブラシなどで掃いて、表面の砂や土などの汚れを落としてください。
- 汚れがひどいときは水洗いし、風通しの良い場所で乾かすことを推奨いたします。



消毒方法

消毒は納入業者、または消毒施設のある業者に依頼してください。
製品の消毒は、アルコール清拭消毒、逆性石けん清拭消毒などを推奨します。
製品に使用している素材の物性を考慮した消毒方法を選択してください。

次にあげるものではお手入れしないこと

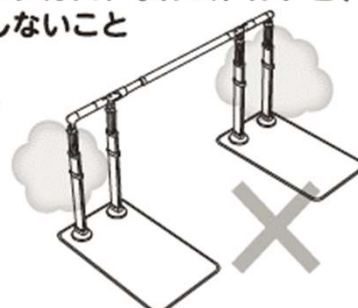
- ・シンナー ・クレゾール
- ・酸、アルカリ性洗剤
- ・塩素系薬剤（洗剤）や熱湯（煮沸消毒など）による殺菌、消毒
- ・磨き粉、タワシ、研磨剤入りスポンジ、その他製品を傷つけるもの

製品が劣化し、破損の原因になります。



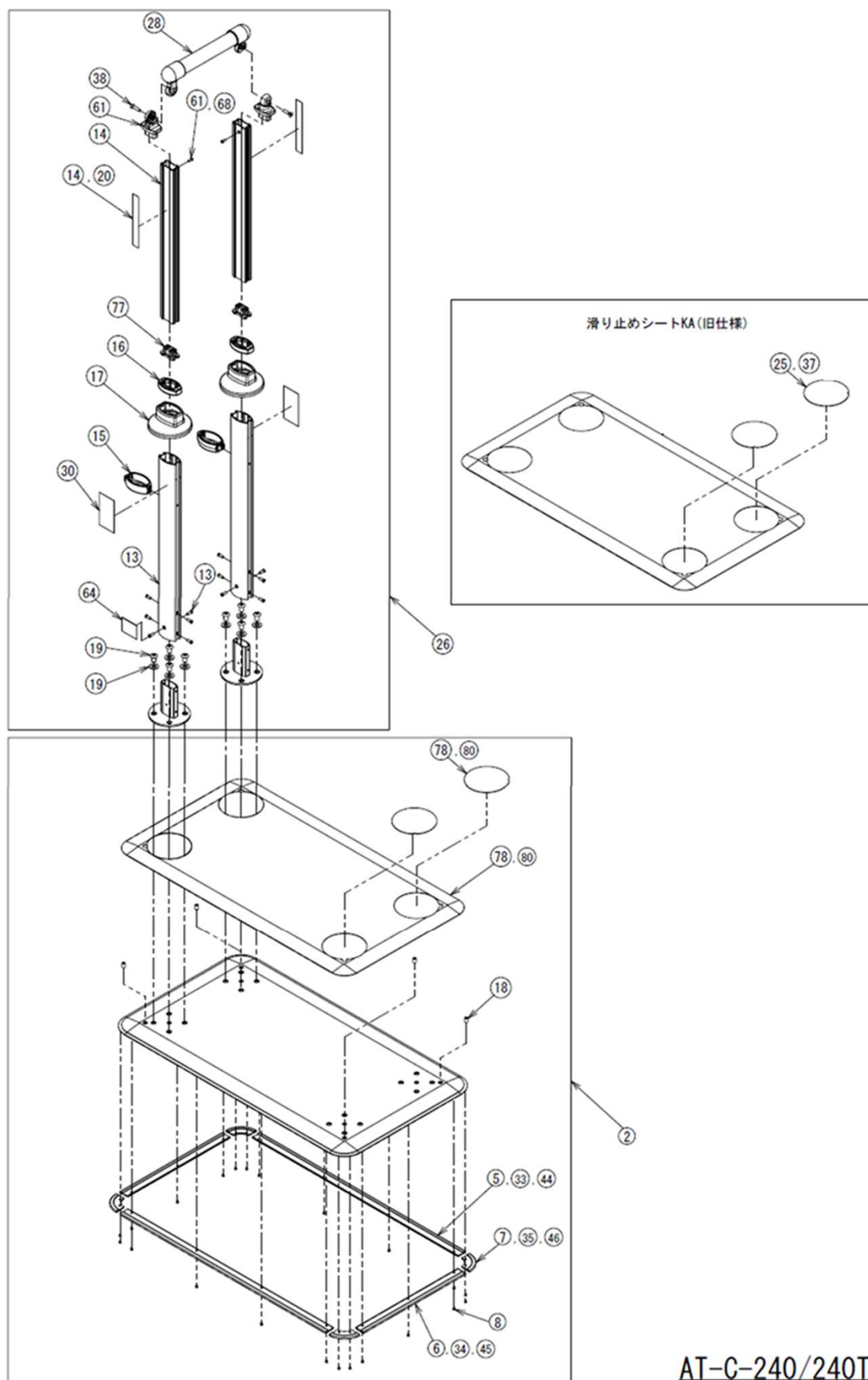
消毒に、オゾンガス、ホルムアルデヒドガスは使用しないこと

製品が破損する原因になります。



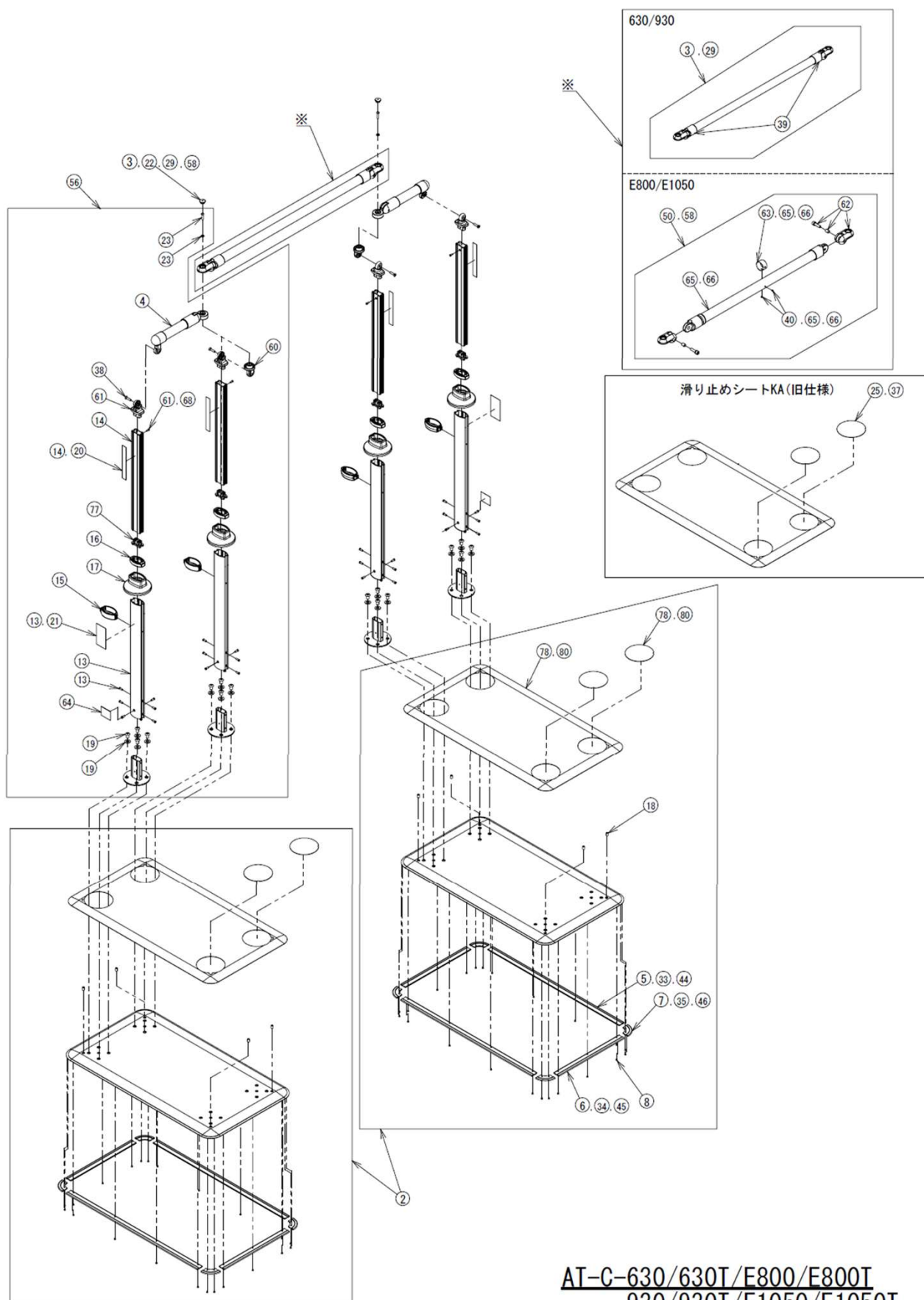


2. 交換部品について ※製品仕様は予告なく変更する場合があります。





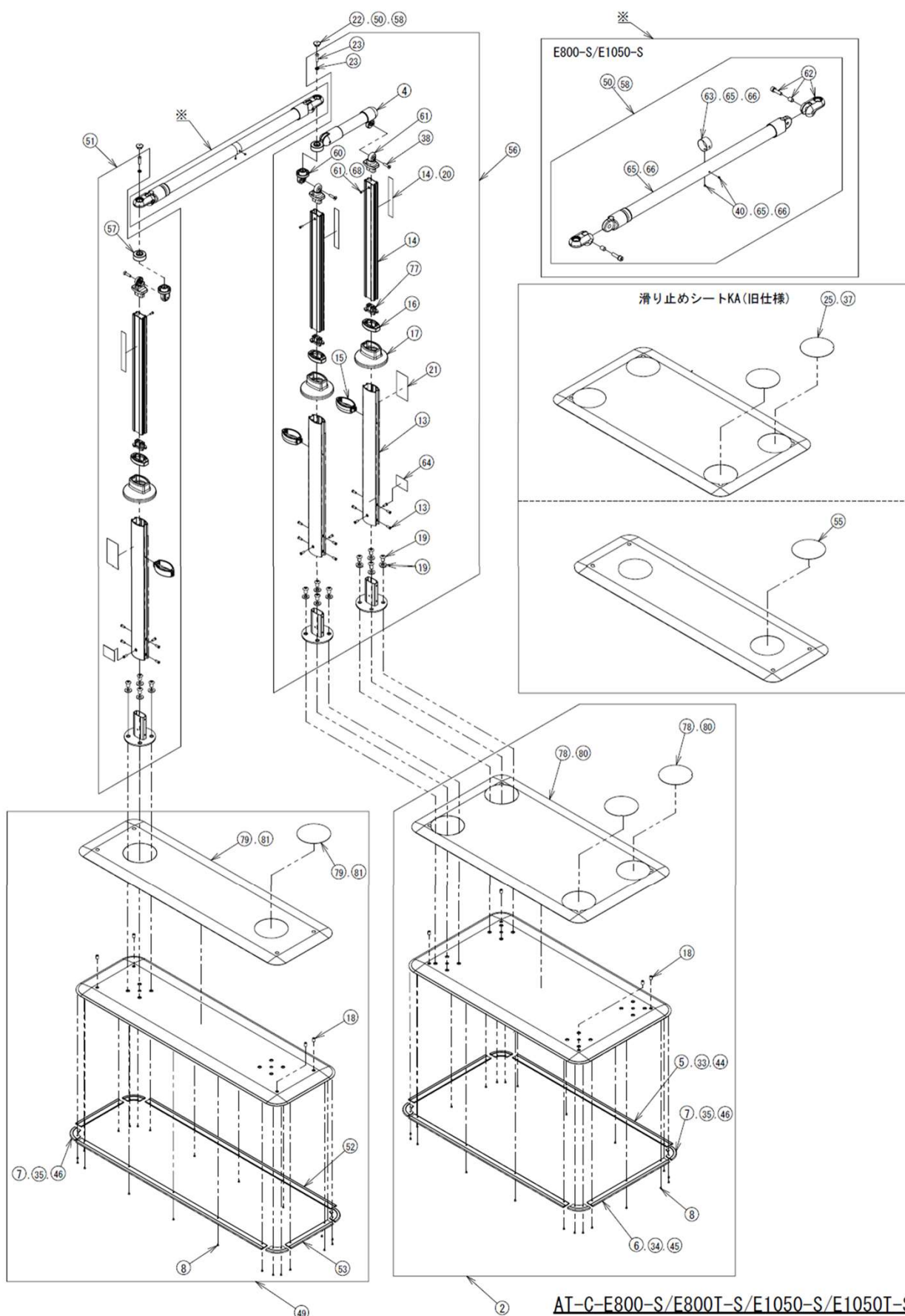
2. 交換部品について ※製品仕様は予告なく変更する場合があります。



**AT-C-630/630T/E800/E800T
930/930T/E1050/E1050T**

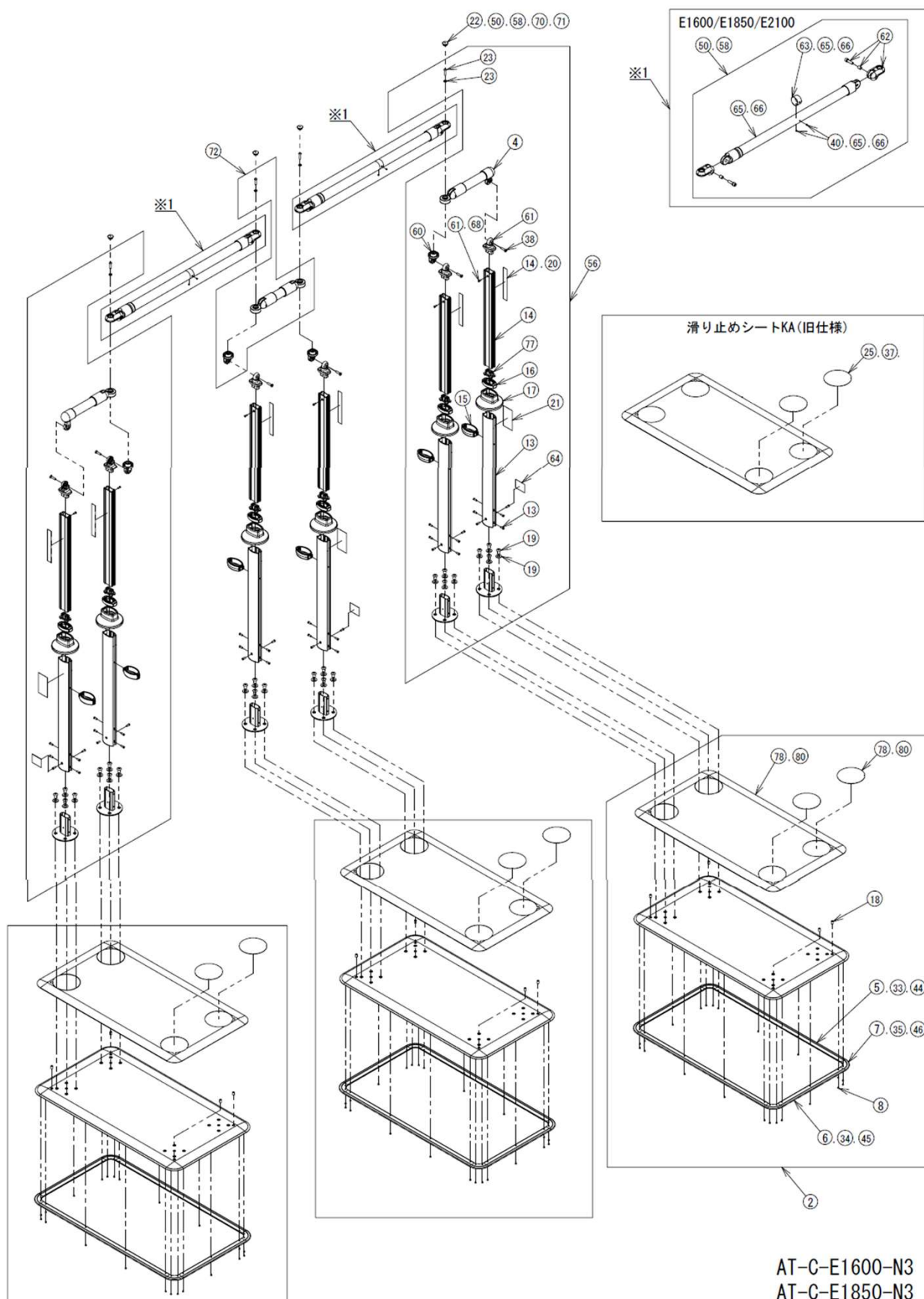


2. 交換部品について ※製品仕様は予告なく変更する場合があります。





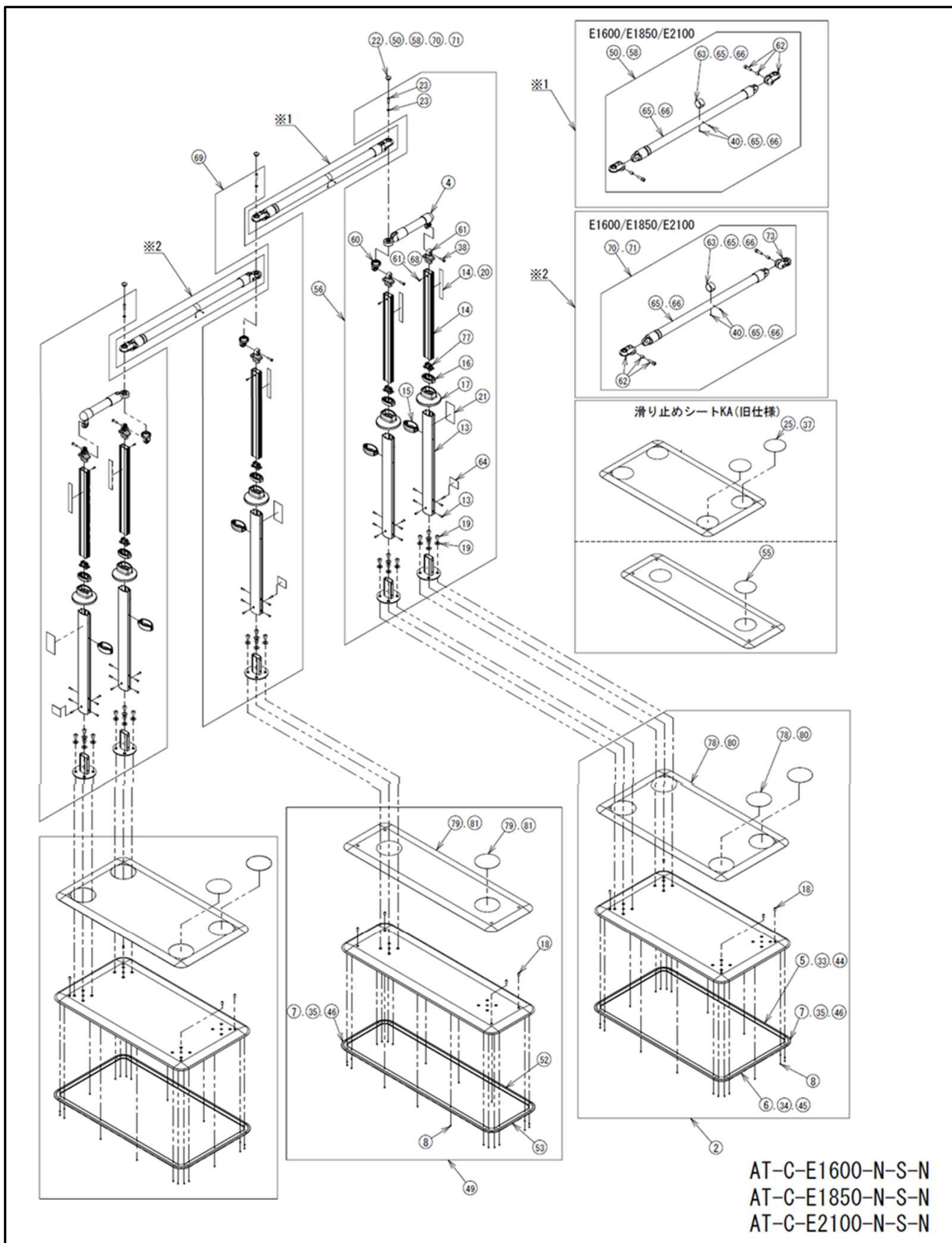
2. 交換部品について



AT-C-E1600-N3
AT-C-E1850-N3
AT-C-E2100-N3

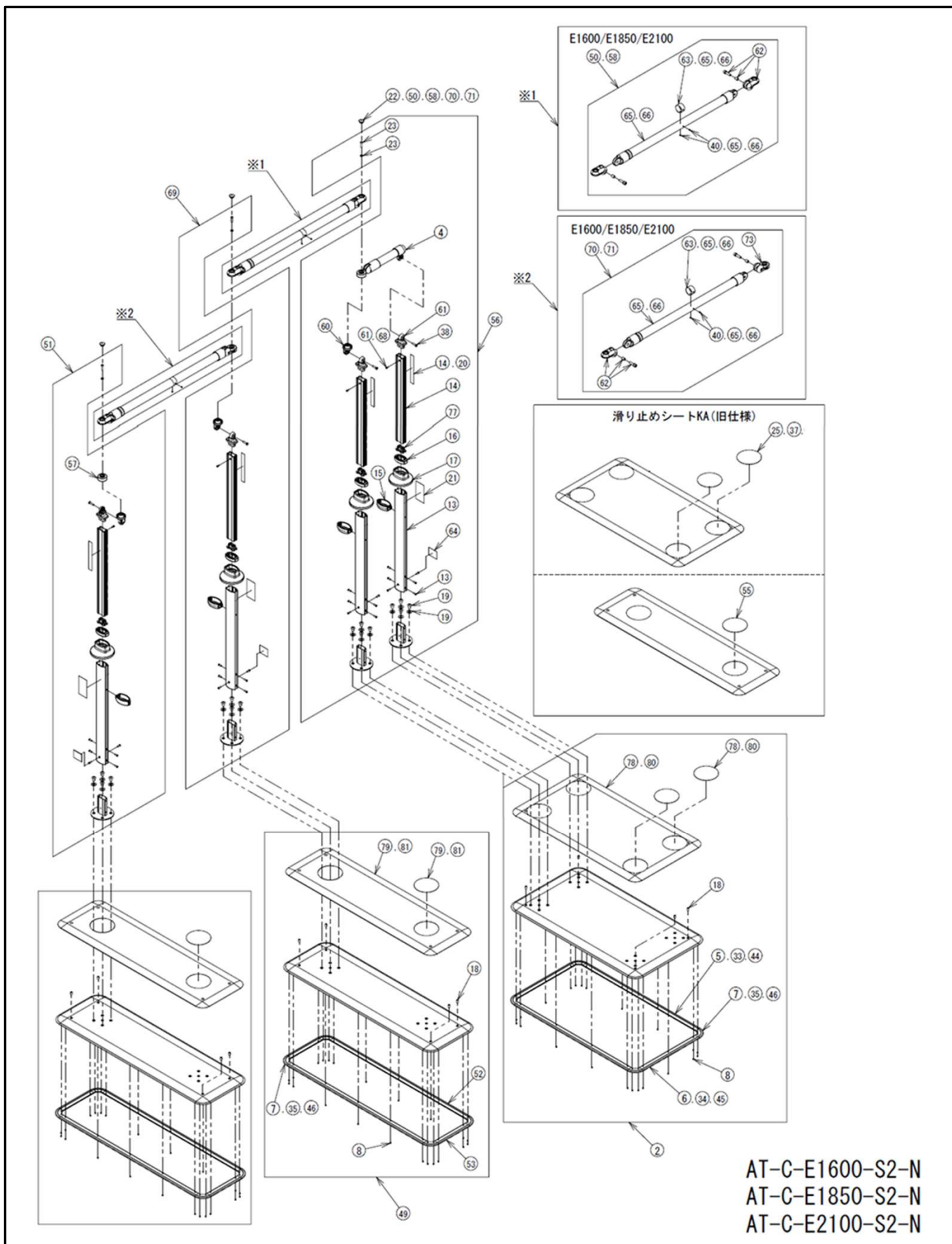


2. 交換部品について ※製品仕様は予告なく変更する場合があります。



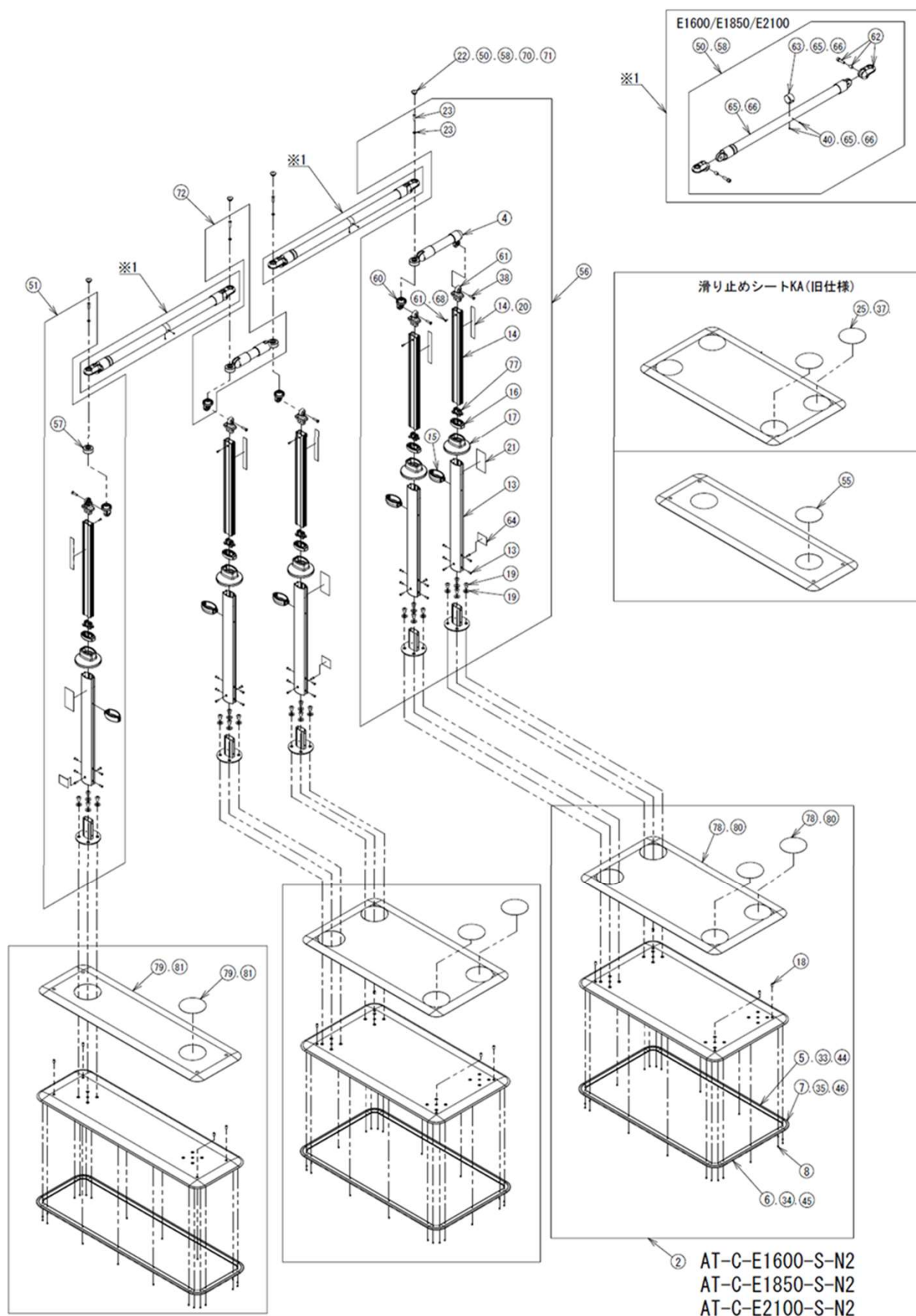


2. 交換部品について ※製品仕様は予告なく変更する場合があります。





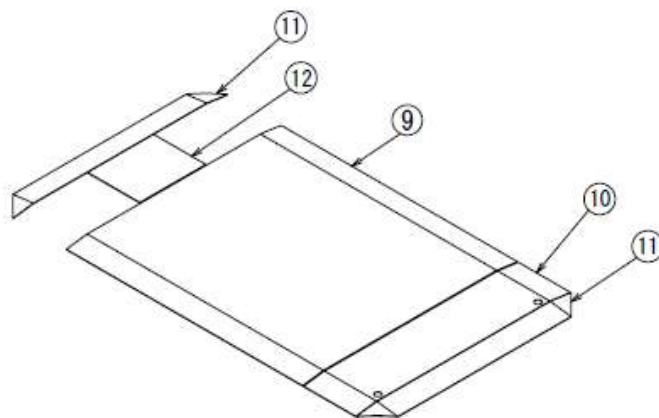
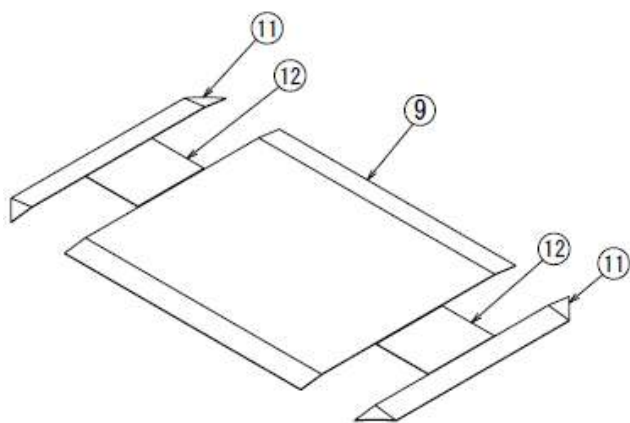
2. 交換部品について ※製品仕様は予告なく変更する場合があります。





2. 交換部品について ※製品仕様は予告なく変更する場合があります。

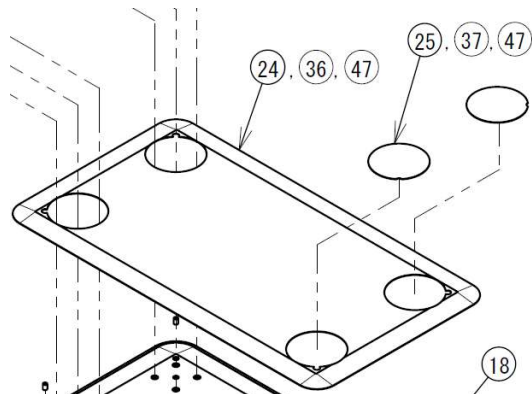
2017年9月末から開始した仕様変更により、下記の滑り止めシートは在庫限りになります。



滑り止めシート(大),(中),(小),(目隠し)

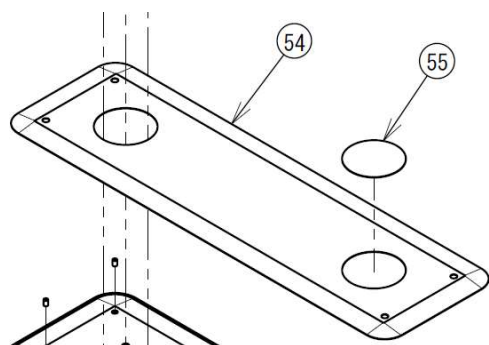
全てのシート貼り替えになってしまいますが、新しい「滑り止めシートKA」に交換可能です。

2023年1月以降、仕様変更により、下記の滑り止めシートは在庫限りになります。製品貼付済み含めて切り替えていきます。



<表面仕様の見直し>

78. 592301
AT-C用滑り止めシートKA-共通(2set)
をご購入ください。

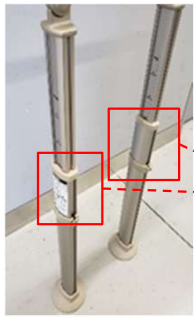


79. 592302
AT-C用滑り止めシートKA-W940(2set)
をご購入ください。



2. 交換部品について ※製品仕様は予告なく変更する場合があります。

2021年12月から開始した仕様変更により、ガタつき防止キャップに変更されています。

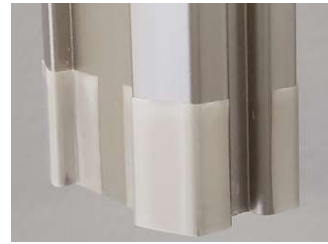


スライド支柱の下部に
テープ無し



～2020年8月末頃

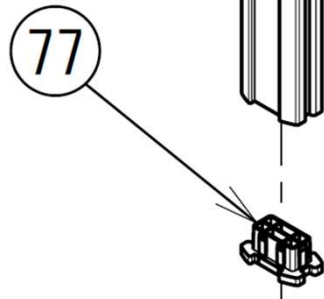
ポリエチレンテープ
を追加



2020年9月頃～21年11月末頃



ガタつき防止キャップに変更



2021年12月頃～

77. AT-C用ガタつき防止キャップは、今までお使いのスライド支柱でも嵌めることができますので、必要に応じてご購入ください。



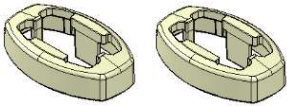
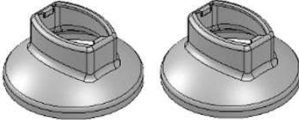
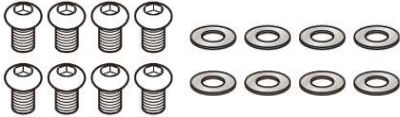
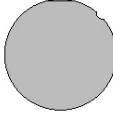
2. 交換部品について

	部品名	画像	部品コード	税抜価格(円)
②	AT-C共通ベースプレート ※製品と同じ梱包状態	 (予備) 滑り止めシート KA (小丸) 2枚 六角レンチ 4mm	592220	66,000
③	AT-C-930手すりセット(キャップ 付)	 可変支柱 ブラケットキャップ 2個	592222	16,500
④	AT-C用240手すりセット	 可変支柱 ブラケットキャップ 2個	592223	12,800
⑤	AT-C用端面保護カバー70cm(4本)		592224	5,400
⑥	AT-C用端面保護カバー35cm(4本)		592225	4,200
⑦	AT-C用端面保護カバーコーナー(4個)		592226	4,000
⑧	AT-C用端面保護カバーボルト(22個)	 ×22個	592227	3,100
⑬	AT-C用外支柱(ねじ付)(2本)	 ×12個	592232	10,100
⑭	AT-C用スライド支柱(シール付)(2本)		592233	10,100
⑮	AT-C用高さ調節固定ピン(2個)		592234	5,200

※仕様や価格は予告なく変更する場合があります。
最新の価格につきましては、弊社総合カタログをご参照ください。



2. 交換部品について

	部品名	画像	部品 コード	税抜 価格(円)
⑩	AT-C用支柱キャップ (2個)		592235	3,100
⑪	AT-C用支柱プレートカバー (2個)		592236	3,400
⑫	AT-C用ガタ調整用ボルト (4個)	 ×4個	592237	3,000
⑬	AT-CR支柱固定ボルト (8個) ※ワッシャー8枚付き		592238	4,500
⑭	AT-C用高さ目盛りシール (10枚)	 ×10枚	592241	3,900
⑮	AT-C用警告シール (10枚)	 ×10枚	592242	4,100
⑯	AT-C用可変支柱ブラケットキャップ (8個)	 ×8個	592243	3,200
⑰	AT-C用回転固定ボルト (8本) ※ワッシャー8枚付き		592244	3,600
⑱	AT-C用滑り止めシートKA(小丸) (8枚)	 ×8枚	592249	3,700

※仕様や価格は予告なく変更する場合があります。
最新の価格につきましては、弊社総合カタログをご参照ください。



2. 交換部品について

	部品名	画像	部品 コード	税抜 価格(円)
②⑥	AT-C-240<支柱セット> ※製品と同じ梱包状態		592360	55,000
②⑧	AT-C-240手すりエンド [®] セット		592362	12,800
②⑨	AT-C-630手すりセット (キャップ 付き)		592363	16,500
③⑩	AT-C-240用警告シール (10枚入)		592364	4,100
③③	AT-C用端面保護カバー70cm(20本)		592264	14,900
③④	AT-C用端面保護カバー35cm(20本)		592265	11,400
③⑤	AT-C用端面保護カバーコーナー(40個)		592266	14,900
③⑦	AT-C用滑り止めシート(小丸)(20枚)		592268	5,500
③⑧	AT-C用ブラケット接続ボルトM6(4本)		592269	1,800

※仕様や価格は予告なく変更する場合があります。

最新の価格につきましては、弊社総合カタログをご参照ください。



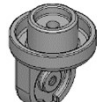
2. 交換部品について

	部品名	画像	部品 コード	税抜 価格(円)
③9	AT-C用丸棒ブラケット Φ34(2個)	×2個 ×2本	592365	8,800
④0	AT-C用手すり伸縮固定ボルト(2本)	×2個	592366	1,400
④4	AT-C用端面保護カバー70cm(60本)	×60本	592383	39,900
④5	AT-C用端面保護カバー35cm(60本)	×60本	592384	29,400
④6	AT-C用端面保護カバーコーナー(120個)	×120個	592385	39,900
④9	AT-C用ベースプレートW940 ※製品と同じ梱包状態	(予備) 滑り止めシート KA (W940 丸) 1枚 六角レンチ 4mm	592388	66,000
⑤0	AT-C-E1050-S手すりセット(キャップ 付)	可変支柱 ブラケットキャップ 2個 六角レンチ 2.5mm	592389	44,000
51	AT-C用S支柱セット	支柱固定ボルト M10 × 15mm 4個 六角レンチ 6mm/4mm 金属ワッシャー M10 4枚	592390	30,000
52	AT-C用端面保護カバー84cm(4本)	×4本	592391	5,600

※仕様や価格は予告なく変更する場合があります。
最新の価格につきましては、弊社総合カタログをご参照ください。



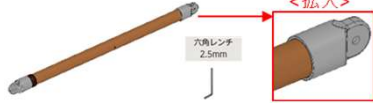
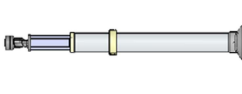
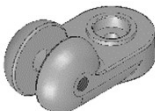
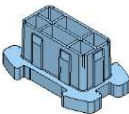
2. 交換部品について

	部品名	画像	部品 コード	税抜 価格(円)
53	AT-C用端面保護カバー19cm(4本)	 ×4本	592392	3,900
55	AT-C用滑り止めシートKA(W940丸)(4枚)	 ×4枚	592394	2,200
56	AT-C共通支柱セット		592395	46,500
57	AT-C用ブラケットスペーサー		592291	4,100
58	AT-C-E800-S手すりセット(キャップ 付)		592397	44,000
60	AT-C用回転固定受けブ ラケット		592292	4,100
61	AT-C用支柱接続ブ ラケット		592293	4,100
62	AT-C S用可変ブ ラケット(回転部上)		592294	5,400
63	AT-C用伸縮部注意シール(10枚入)	 ×10枚	592295	4,100

※仕様や価格は予告なく変更する場合があります。
最新の価格につきましては、弊社総合カタログをご参照ください。



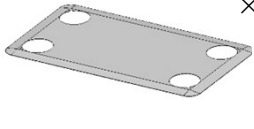
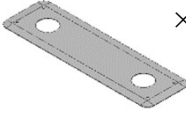
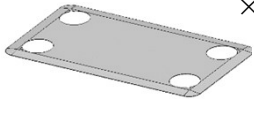
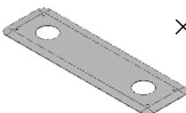
2. 交換部品について

	部品名	画像	部品 コード	税抜 価格(円)
64	AT-C用品質表示シール(10枚入)	 ×10枚	592296	4,100
65	AT-C-E800-S伸縮手すり	 <拡大> 六角レンチ 2.5mm	592297	39,900
66	AT-C-E1050-S伸縮手すり	 <拡大> 六角レンチ 2.5mm	592298	39,900
68	AT-C用支柱接続ボルト(10本入)	 <拡大> ×10本	592357	2,300
69	AT-C用接続支柱セット	 支柱固定ボルト M10 × 15mm 4個 六角レンチ 6mm/4mm 金属ワッシャー M10 4枚	592352	30,000
70	AT-C-E800-S接続手すりセット(CAP)	 可変支柱 ブラケットキャップ 2個 六角レンチ 2.5mm	592353	44,000
71	AT-C-E1050-S接続手すりセットR(CAP)	 可変支柱 ブラケットキャップ 2個 六角レンチ 2.5mm	592354	44,000
72	AT-C用接続240手すりセット	 六角レンチ 4mm	592355	10,000
73	AT-C用接続専用ブラケット	 六角レンチ 4mm	592356	4,100
77	AT-C用支柱ガタつき防止キャップ (2個)	 ×2個	592358	2,100

※仕様や価格は予告なく変更する場合があります。
最新の価格につきましては、弊社総合カタログをご参照ください。



2. 交換部品について

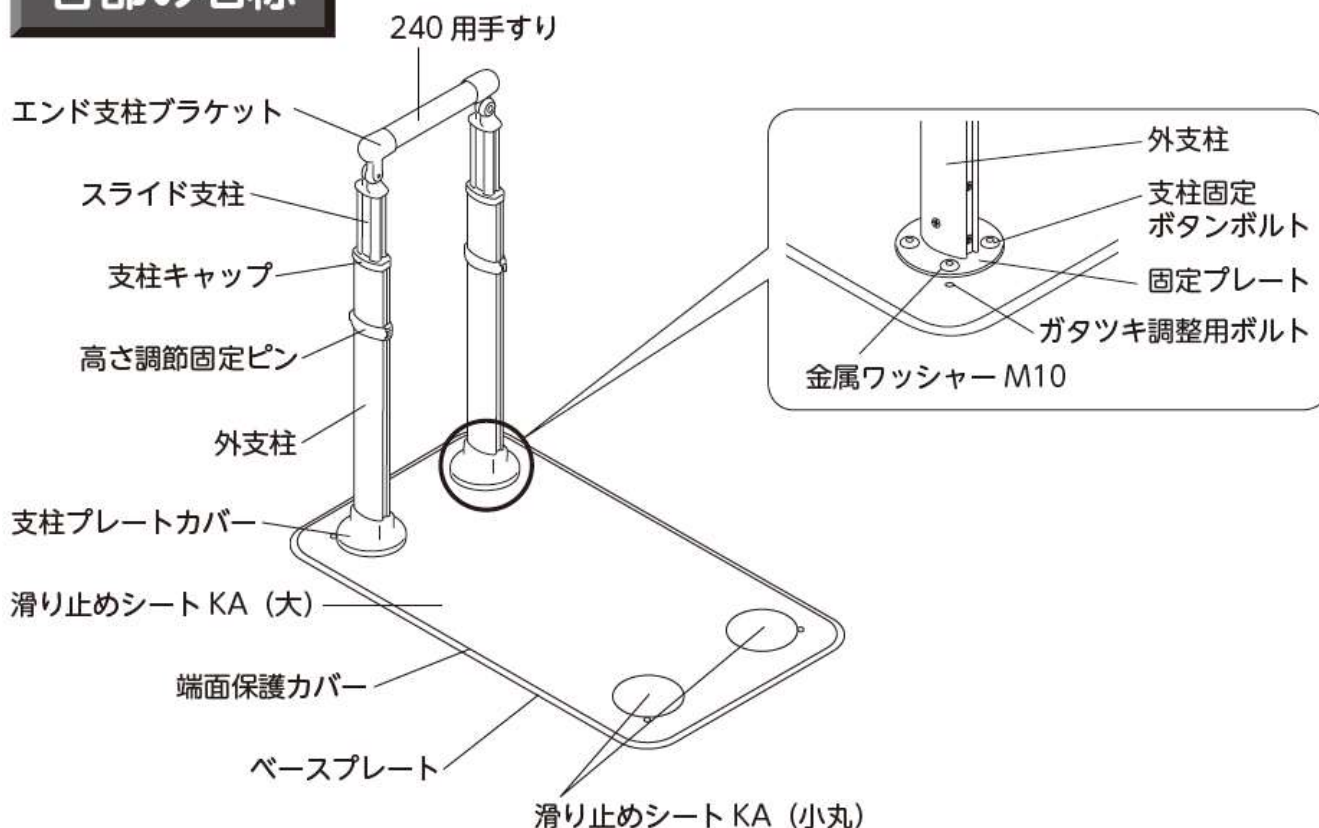
	部品名	画像	部品 コード	税抜 価格(円)
78	AT-C用滑り止めシートKA-共通(2set)	 × 2枚 × 8枚	592301	14,500
79	AT-C用滑り止めシートKA-W940(2set)	 × 2枚 × 4枚	592302	13,200
80	AT-C用滑り止めシートKA-共通(10set)	 × 10枚 × 40枚	592328	66,600
81	AT-C用滑り止めシートKA-W940(10set)	 × 10枚 × 20枚	592329	63,600

※仕様や価格は予告なく変更する場合があります。
最新の価格につきましては、弊社総合カタログをご参照ください。



3. 使用材料について

各部の名称



品 名	AT-C-240 / 240T	
構 成 部 材	部 品 名	材 質
	240 用手すり	半硬質塩化ビニル樹脂／アルミニウム
	外支柱 スライド支柱	アルミニウム
	ベースプレート 固定プレート	ステンレス
	高さ調節固定ピン	ポリエチレン／ステンレス
	エンド支柱ブラケット	アルミニウム合金
	支柱キャップ	AES 樹脂
	支柱プレートカバー	ポリプロピレン
	滑り止めシート KA (大・小丸)	(表面) 発泡ウレタンゴム (接着面) アクリル系接着剤
	端面保護カバー	塩化ビニル樹脂
サ イ ズ	幅 80 × 奥行 45 × 高さ 75 ～ 85cm 手すり高さ 75・80・85cm (3 段階)	
重 量	AT-C-240 : 約 19kg AT-C-240T : 約 22kg	

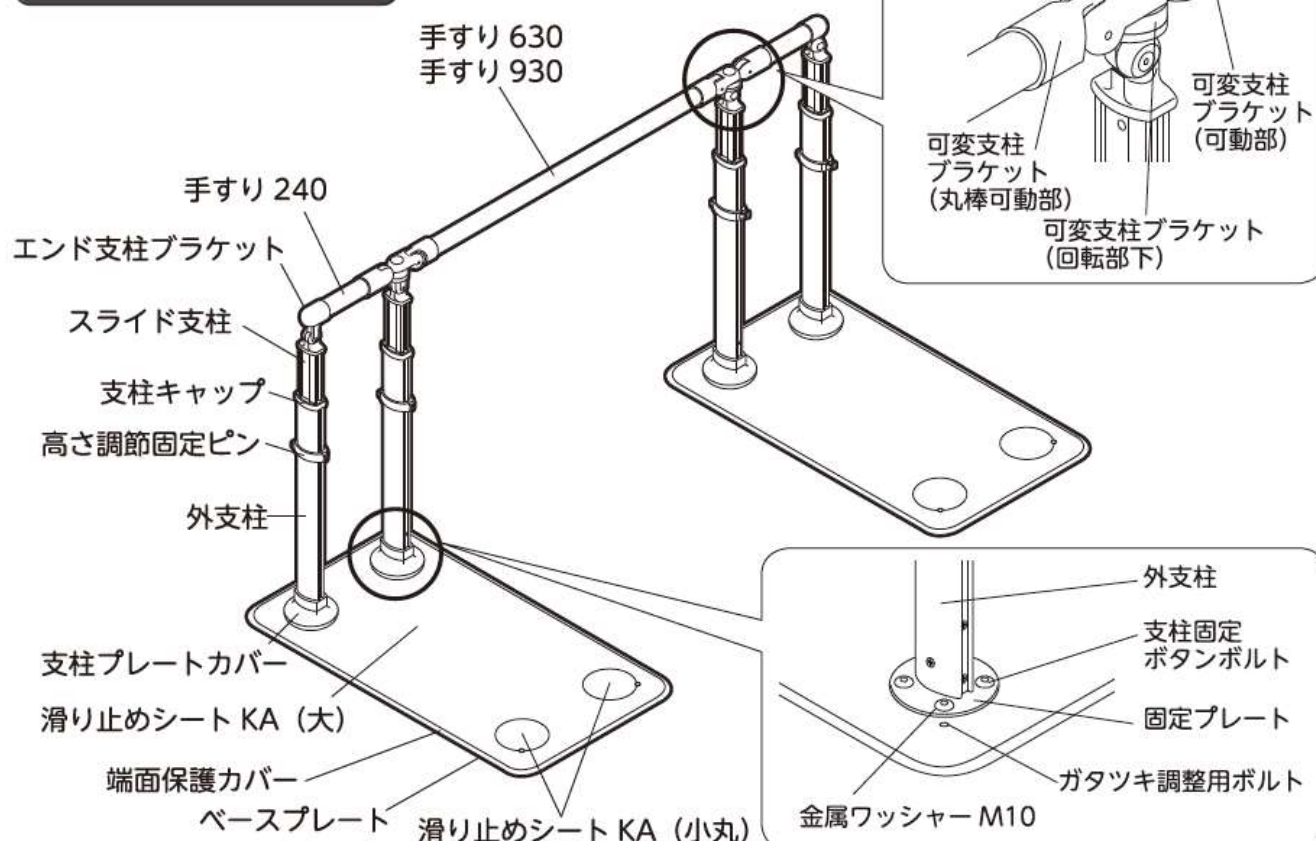


3. 使用材料について

各部の名称と仕様

AT-C-630/630T

AT-C-930/930T



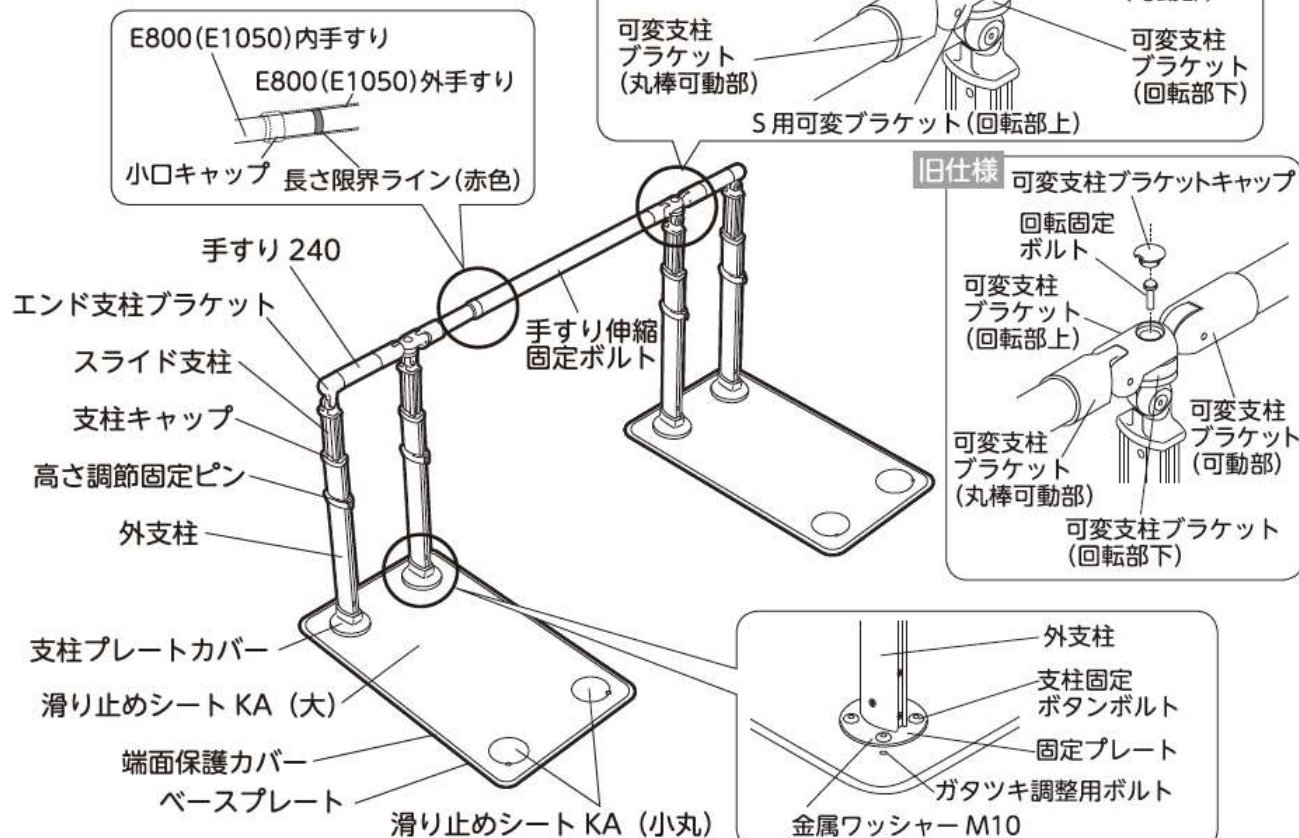
品 名	AT-C-630 / 630T / 930 / 930T	
構 成 部 材	部 品 名	材 質
	手すり 240・630・930	半硬質塩化ビニル樹脂 / アルミニウム
	外支柱・スライド支柱	アルミニウム
	ベースプレート・固定プレート	ステンレス
	高さ調節固定ピン	ポリエチレン / ステンレス
	エンド支柱ブラケット 可変支柱ブラケット（可動部・丸棒可動部） 可変支柱ブラケット（回転部上・下）	アルミニウム合金
	支柱キャップ	AES 樹脂
	支柱プレートカバー 可変支柱ブラケットキャップ	ポリプロピレン
	滑り止めシート KA（大・小丸）	（表面）発泡ウレタンゴム・（接着面）アクリル系接着剤
	端面保護カバー	塩化ビニル樹脂
	サ イ ズ	AT-C-630 / 630T：幅 80 × 奥行 132 × 高さ 75 ～ 85cm AT-C-930 / 930T：幅 80 × 奥行 162 × 高さ 75 ～ 85cm
手すり高さ	75・80・85cm（3段階）	
重 量	AT-C-630：約 39kg AT-C-930：約 39kg AT-C-630T：約 47kg AT-C-930T：約 48kg	



3. 使用材料について

AT-C-E800/E800T

AT-C-E1050/E1050T



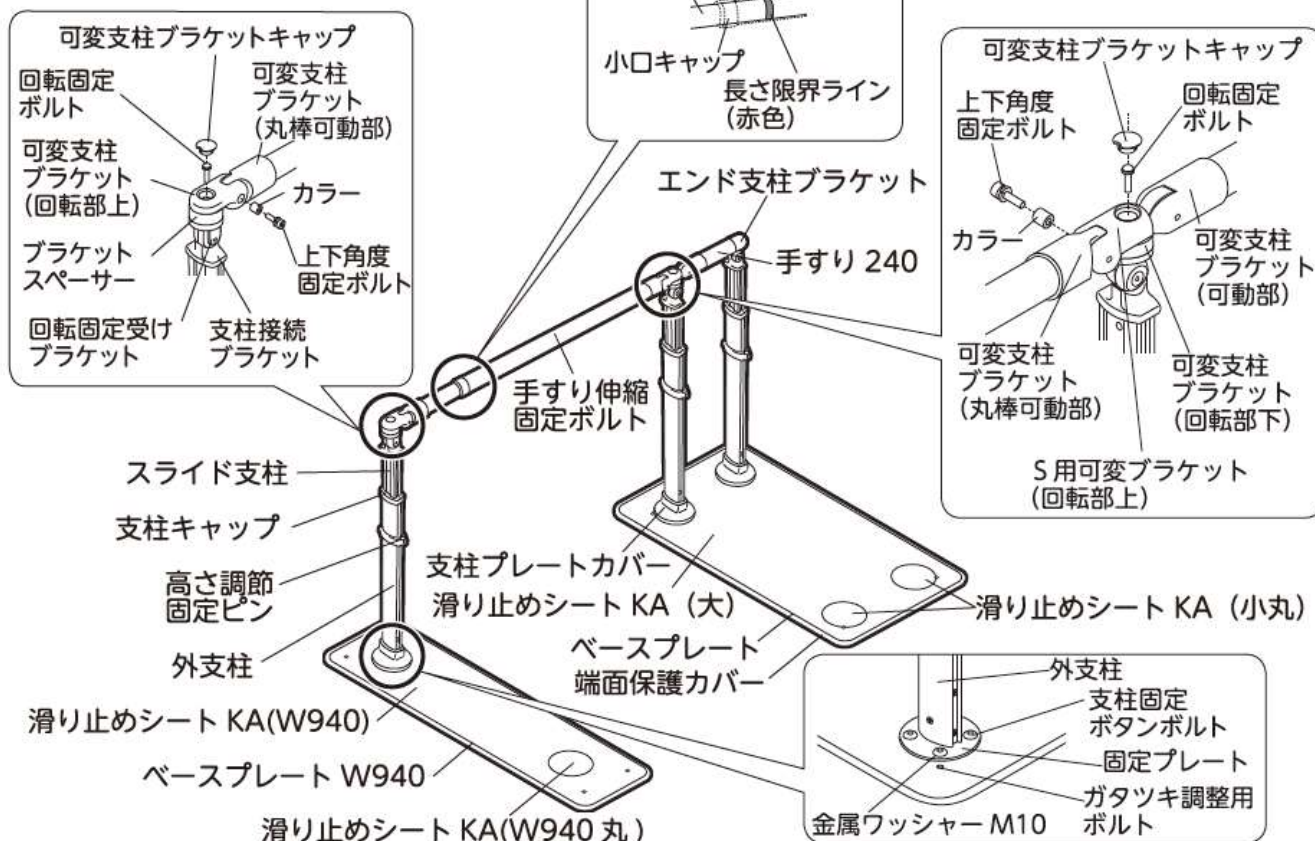
品 名	AT-C-E800 / E800T / E1050 / E1050T	
構 成 部 材	部 品 名	材 質
	E800(E1050)内・外手すり・手すり 240	半硬質塩化ビニル樹脂 / アルミニウム
	外支柱・スライド支柱	アルミニウム
	ベースプレート・固定プレート	ステンレス
	高さ調節固定ピン	ポリエチレン / ステンレス
	エンド支柱ブラケット 可変支柱ブラケット (可動部・丸棒可動部) 可変支柱ブラケット (回転部上・下) S用可変ブラケット (回転部上)	アルミニウム合金
	支柱キャップ	AES 樹脂
	支柱プレートカバー 可変支柱ブラケットキャップ	ポリプロピレン
	小口キャップ	ASA 樹脂
	滑り止めシート KA (大・小丸)	(表面)発泡ウレタンゴム・(接着面)アクリル系接着剤
	端面保護カバー	塩化ビニル樹脂
サ イ ズ	AT-C-E800 / E800T : 幅80×奥行135~150×高さ75~85cm AT-C-E1050 / E1050T : 幅80×奥行150~175×高さ75~85cm	
手すり高さ	75・80・85cm (3段階)	
重 量	AT-C-E800 : 約 38kg AT-C-E1050 : 約 39kg AT-C-E800T : 約 47kg AT-C-E1050T : 約 48kg	



3. 使用材料について

AT-C-E800-S/E800T-S

AT-C-E1050-S/E1050T-S



品 名	AT-C-E800-S / E800T-S / E1050-S / E1050T-S	
構 成 部 材	部 品 名	材 質
	E800 (E1050) 内・外手すり・手すり 240	半硬質塩化ビニル樹脂 / アルミニウム
	外支柱・スライド支柱	アルミニウム
	ベースプレート・固定プレート ベースプレート W940	ステンレス
	高さ調節固定ピン	ポリエチレン / ステンレス
	エンド支柱ブラケット 可変支柱ブラケット(可動部・丸棒可動部・回転部下) S用可変ブラケット (回転部上) ブラケットスペーサー	アルミニウム合金
	支柱キャップ	AES 樹脂
	支柱プレートカバー 可変支柱ブラケットキャップ	ポリプロピレン
	小口キャップ	ASA 樹脂
	滑り止めシート KA (大・小丸・W940・W940 丸)	(表面) 発泡ウレタンゴム (接着面) アクリル系接着剤
	端面保護カバー	塩化ビニル樹脂
サ イ ズ	AT-C-E800-S / E800T-S : 幅94×奥行115~130×高さ75~85cm AT-C-E1050-S / E1050T-S : 幅94×奥行130~155×高さ75~85cm	
手すり高さ (共通)	75・80・85cm (3段階)	
重 量	AT-C-E800-S : 約32kg	AT-C-E1050-S : 約34kg
	AT-C-E800T-S : 約39kg	AT-C-E1050T-S : 約40kg

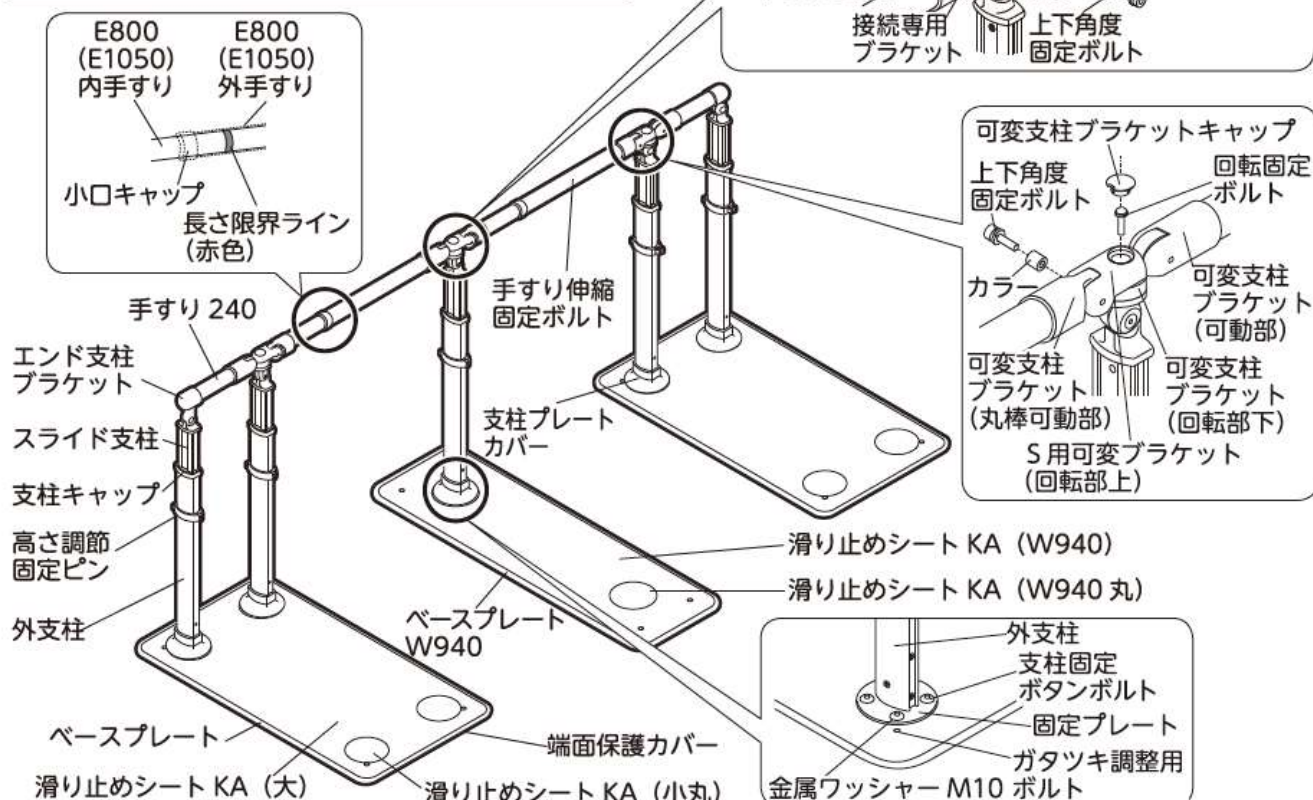


3. 使用材料について

AT-C-E1600-N-S-N/E1600T-N-S-N

AT-C-E1850-N-S-N/E1850T-N-S-N

AT-C-E2100-N-S-N/E2100T-N-S-N



品 名	AT-C-E1600-N-S-N / E1600T-N-S-N / E1850-N-S-N / E1850T-N-S-N / E2100-N-S-N/E2100T-N-S-N	
構 成 部 材	部 品 名	材 質
	E800(E1050) 内・外手すり・手すり 240	半硬質塩化ビニル樹脂 / アルミニウム
	外支柱・スライド支柱	アルミニウム
	ベースプレート・固定プレート ベースプレート W940	ステンレス
	高さ調節固定ピン	ポリエチレン / ステンレス
	各種ブラケット	アルミニウム合金
	支柱キャップ	AES 樹脂
	支柱プレートカバー 可変支柱ブラケットキャップ	ポリプロピレン
	小口キャップ	ASA 樹脂
	滑り止めシート KA (大・小丸・W940・W940 丸)	(表面) 発泡ウレタンゴム (接着面) アクリル系接着剤
	端面保護カバー	塩化ビニル樹脂
サ イ ズ	AT-C-E1600-N-S-N / E1600T-N-S-N : 幅94×奥行200~230×高さ75~85cm AT-C-E1850-N-S-N / E1850T-N-S-N : 幅94×奥行215~255×高さ75~85cm AT-C-E2100-N-S-N / E2100T-N-S-N : 幅94×奥行230~280×高さ75~85cm	
手すり高さ (共通)	75・80・85cm (3段階)	
重 量	AT-C-E1600-N-S-N : 約53kg AT-C-E1600T-N-S-N : 約63kg AT-C-E1850-N-S-N : 約53kg AT-C-E1850T-N-S-N : 約64kg AT-C-E2100-N-S-N : 約53kg AT-C-E2100T-N-S-N : 約64kg	

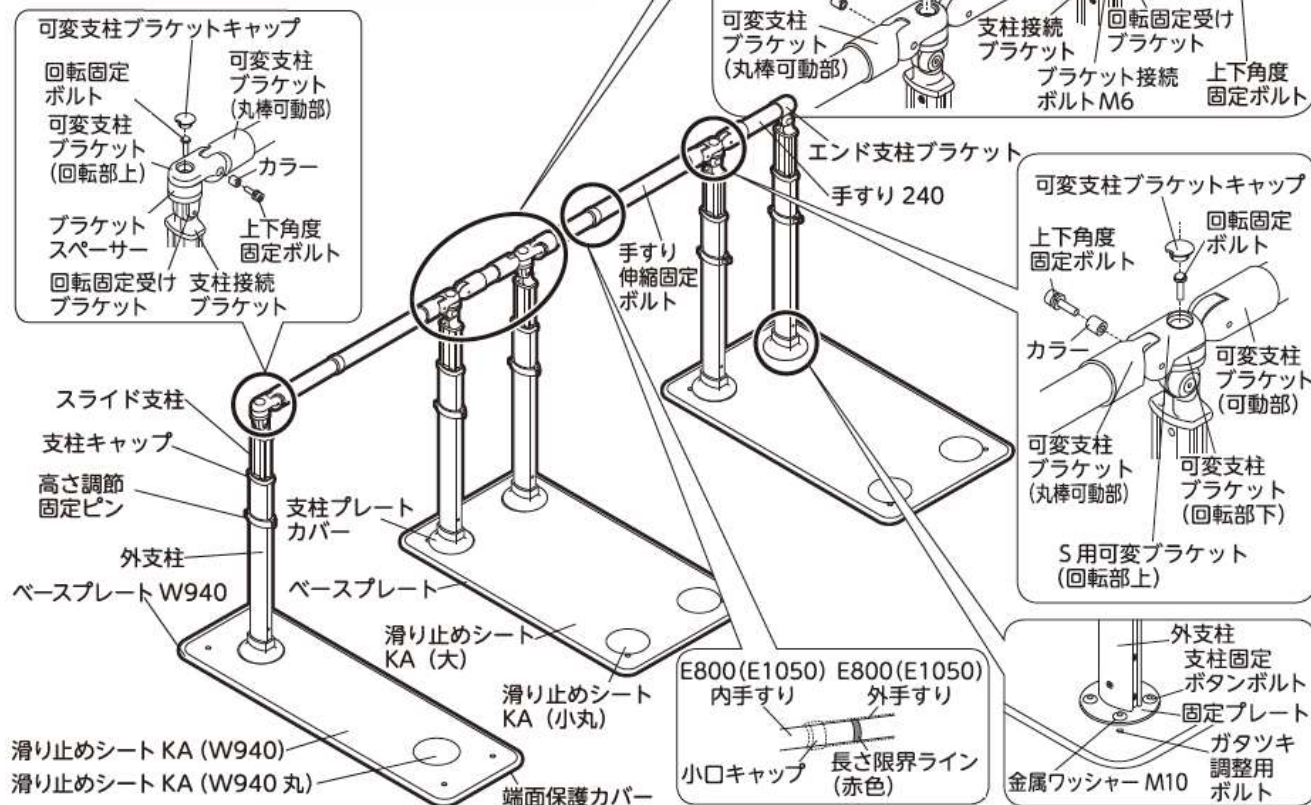


3. 使用材料について

AT-C-E1600-S-N2/E1600T-S-N2

AT-C-E1850-S-N2/E1850T-S-N2

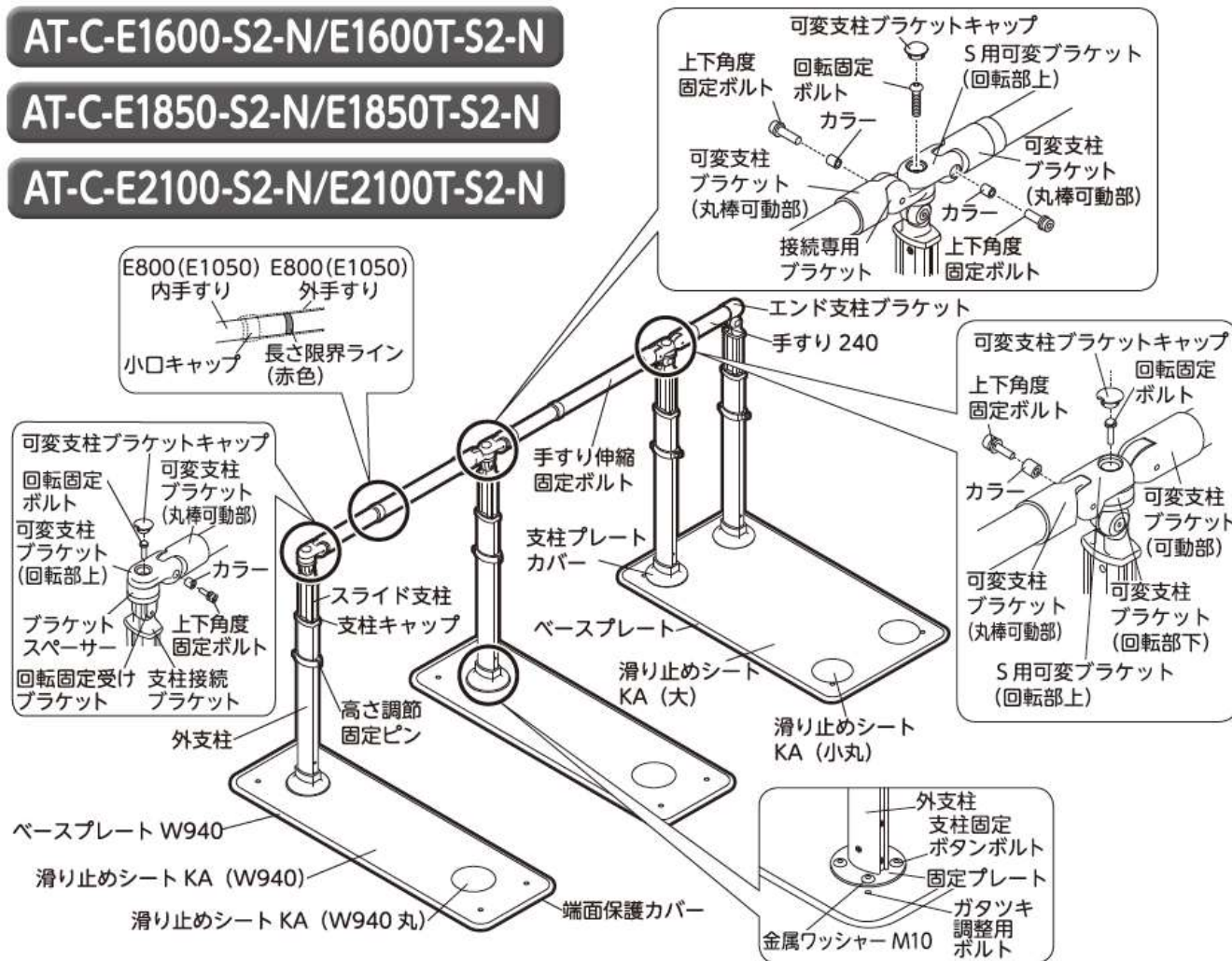
AT-C-E2100-S-N2/E2100T-S-N2



品名	AT-C-E1600-S-N2 / E1600T-S-N2 / E1850-S-N2 / E1850T-S-N2 / E2100-S-N2 / E2100T-S-N2	
構成部材	部品名	材質
	E800(E1050) 内・外手すり・各手すり	半硬質塩化ビニル樹脂 / アルミニウム
	外支柱・スライド支柱	アルミニウム
	ベースプレート・固定プレート	ステンレス
	ベースプレート W940	ステンレス
	高さ調節固定ピン	ポリエチレン / ステンレス
	各種ブラケット	アルミニウム合金
	支柱キャップ	AES 樹脂
	支柱プレートカバー	ポリプロピレン
	可変支柱ブラケットキャップ	ポリプロピレン
	小口キャップ	ASA 樹脂
サイズ	AT-C-E1600-S-N2 / E1600T-S-N2 : 幅94×奥行204~234×高さ75~85cm	
	AT-C-E1850-S-N2 / E1850T-S-N2 : 幅94×奥行219~259×高さ75~85cm	
手すり高さ (共通)	AT-C-E2100-S-N2 / E2100T-S-N2 : 幅94×奥行234~284×高さ75~85cm	
	75・80・85cm (3段階)	
重量	AT-C-E1600-S-N2 : 約53kg	AT-C-E1600T-S-N2 : 約64kg
	AT-C-E1850-S-N2 : 約53kg	AT-C-E1850T-S-N2 : 約64kg
	AT-C-E2100-S-N2 : 約53kg	AT-C-E2100T-S-N2 : 約64kg



3. 使用材料について



品 名	AT-C-E1600-S2-N / E1600T-S2-N / E1850-S2-N / E1850T-S2-N / E2100-S2-N / E2100T-S2-N	
構 成 部 材	部 品 名	材 質
	E800(E1050) 内・外手すり・各手すり	半硬質塩化ビニル樹脂 / アルミニウム
	外支柱・スライド支柱	アルミニウム
	ベースプレート・固定プレート ベースプレート W940	ステンレス
	高さ調節固定ピン	ポリエチレン / ステンレス
	各種ブラケット	アルミニウム合金
	支柱キャップ	AES 樹脂
	支柱プレートカバー 可変支柱ブラケットキャップ	ポリプロピレン
	小口キャップ	ASA 樹脂
	滑り止めシート KA (大・小丸・W940・W940 丸)	(表面) 発泡ウレタンゴム (接着面) アクリル系接着剤
	端面保護カバー	塩化ビニル樹脂
サ イ ズ	AT-C-E1600-S2-N / E1600T-S2-N : 幅94×奥行180～210×高さ75～85cm AT-C-E1850-S2-N / E1850T-S2-N : 幅94×奥行195～235×高さ75～85cm AT-C-E2100-S2-N / E2100T-S2-N : 幅94×奥行210～260×高さ75～85cm	
手すり高さ (共通)	75・80・85cm (3段階)	
重 量	AT-C-E1600-S2-N : 約46kg AT-C-E1600T-S2-N : 約55kg	
	AT-C-E1850-S2-N : 約47kg AT-C-E1850T-S2-N : 約56kg	
	AT-C-E2100-S2-N : 約47kg AT-C-E2100T-S2-N : 約56kg	

AT-C-E2100-S-N-S/E2100T-S-N-S



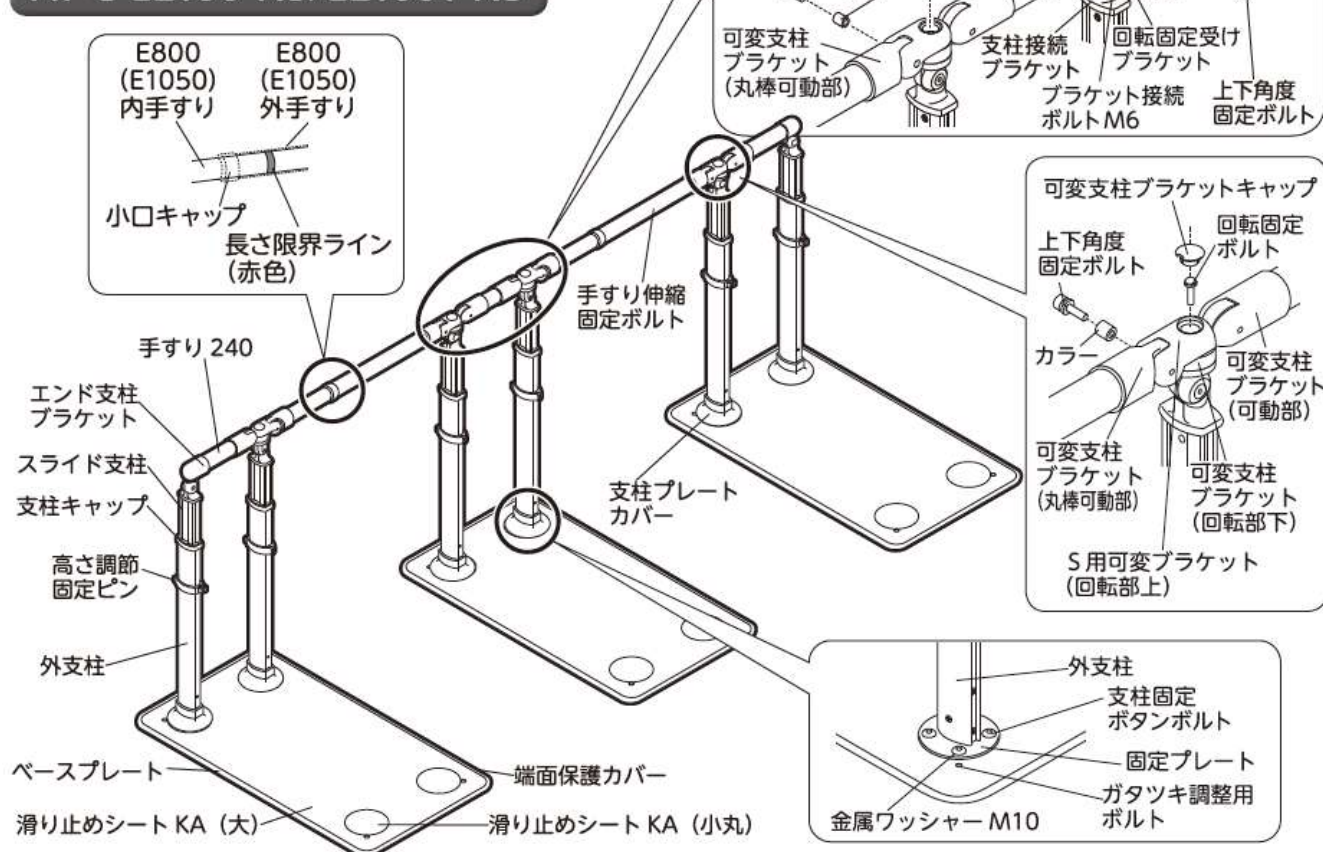


3. 使用材料について

AT-C-E1600-N3/E1600T-N3

AT-C-E1850-N3/E1850T-N3

AT-C-E2100-N3/E2100T-N3



品 名	AT-C-E1600-N3 / E1600T-N3 / E1850-N3 / E1850T-N3 / E2100-N3 / E2100T-N3	
構 成 部 材	部 品 名	材 質
	E800(E1050) 内・外手すり・各手すり	半硬質塩化ビニル樹脂 / アルミニウム
	外支柱・スライド支柱	アルミニウム
	ベースプレート・固定プレート	ステンレス
	高さ調節固定ピン	ポリエチレン / ステンレス
	各種ブラケット	アルミニウム合金
	支柱キャップ	AES 樹脂
	支柱プレートカバー	ポリプロピレン
	可変支柱ブラケットキャップ	ポリプロピレン
	小口キャップ	ASA 樹脂
	滑り止めシート KA (大・小丸)	(表面) 発泡ウレタンゴム (接着面) アクリル系接着剤
	端面保護カバー	塩化ビニル樹脂
サ イ ズ	AT-C-E1600-N3 / E1600T-N3 : 幅80×奥行234~254×高さ75~85cm	
	AT-C-E1850-N3 / E1850T-N3 : 幅80×奥行239~279×高さ75~85cm	
	AT-C-E2100-N3 / E2100T-N3 : 幅80×奥行254~304×高さ75~85cm	
手すり高さ (共通)	75・80・85cm (3段階)	
重 量	AT-C-E1600-N3 : 約59kg AT-C-E1600T-N3 : 約72kg	
	AT-C-E1850-N3 : 約59kg AT-C-E1850T-N3 : 約72kg	
	AT-C-E2100-N3 : 約60kg AT-C-E2100T-N3 : 約73kg	



4. 交換手順について ※頻度が多いと想定する箇所のみ記載します

(1) 端面保護カバーの交換方法

(交換部品⑤、⑥、⑦、③③、③④、③⑤、④④、④⑤、④⑥、⑤②、⑤③)

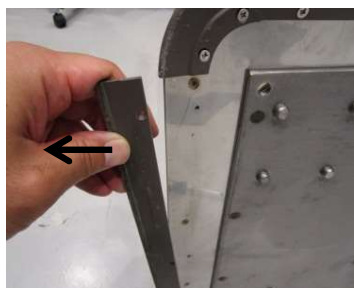


※通常の使用では削れにくいですが、地面を引きずると、樹脂が削れてきます。

必要工具・・・プラスドライバー（JIS2番）



1. ベースプレートを裏返しにして、交換する箇所の皿ボルトをプラスドライバーで回して外してください。



2. 皿ボルトを外したのち、端面保護カバーを手で引っ張ると外れます。



3. 上記を逆の手順で取り付けてください



4. 交換手順について ※頻度が多いと想定する箇所のみ記載します

(2) 滑り止めシートKAの交換方法

交換部品

(24)、(25)、(36)、(37)、(54)、(55)、(78)、(79)



※使用していると、汚れが落ちなくなったり、固いもので擦ると凹凸が潰れます。交換する際は、(大)(小丸)および(W940)(W940丸)単位で全て交換してください。

必要工具・・・(状況に応じて)カッター、はさみ
圧着作業するためローラーや樹脂ヘラ



1. 交換する滑り止めシートKAを剥がしてください。



※力任せにはがそうとすると大変ですので、廃棄するシートは部分的にカッターしながらはがすと楽に行えます。



取り除いたベースプレート表面

※すべり止めシートKAは2層になっていますので、1層のみ残ることがあります。全てのシートをはがすようにしてください。

下地シート残り



剥がした後、汚れなど付着していた場合、アルコール等でふき取ってください。
※シートの接着力が低下する原因となります。



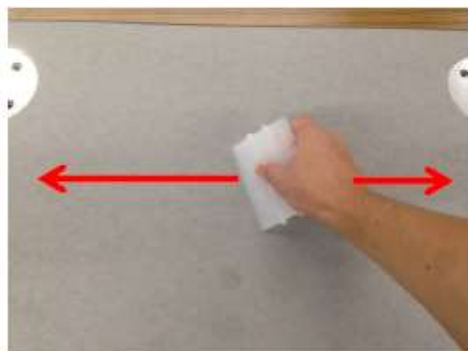
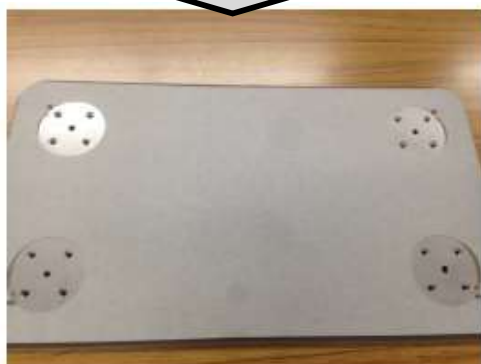
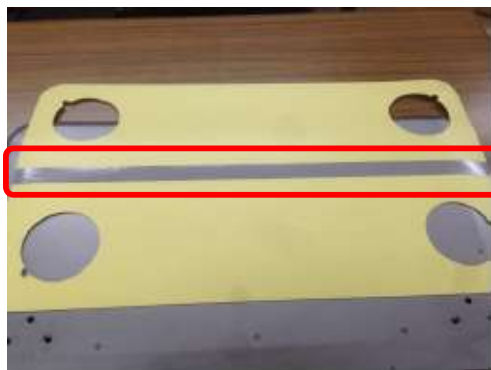


4. 交換手順について ※頻度が多いと想定する箇所のみ記載します

(2) 滑り止めシートKAの交換方法

交換部品

(24、25、36、37、54、55、78、79)



2. 新しい滑り止めシートKAの裏側の
中央部分のみ、剥離紙をはがして
ください。

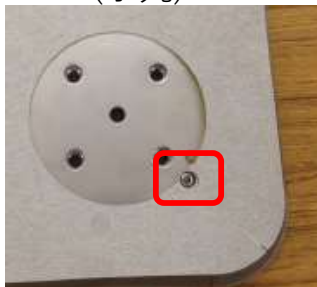
※中央部分のみ取れるように切れ目
が入っています。

※78と79は、剥離紙が白色になります。

3. 穴位置を合わせながらベースプレートの上
に載せてください。

※四隅のガタツキ調整ボルトを目印にすると
合わせやすいです。

(小丸)



(W940丸)



4. 中央部分をローラーなどで押し付
けて固定してください。



4. 交換手順について ※頻度が多いと想定する箇所のみ記載します

(2) 滑り止めシートKAの交換方法

交換部品

(24)、(25)、(36)、(37)、(54)、(55)、(78)、(79)

5. 片側のみ剥離紙をはがしてください



6. 中央部分から直線方向に貼り付けてください。

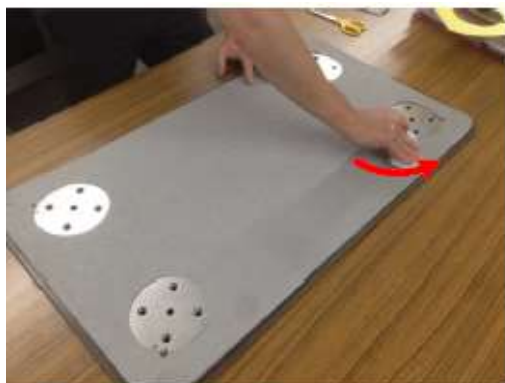
※接着部分に空気が入らないように内側→外側に向かって作業してください。



外周の端面保護カバー付近は、シートが浮き上がりやすいので、ヘラやローラーなどで力を入れながら押し付けて貼り付けてください。



7. 端部の円弧形状は、円弧に沿うような形で貼り付けてください。





4. 交換手順について ※頻度が多いと想定する箇所のみ記載します

(2) 滑り止めシートKAの交換方法



反対側も同じ手順で作業してください。



交換部品

(24、25、36、37、54、55、78、79)

8. 角部分には切り込みがありますので、しわが寄らないように合わせてください。

9. 手で全体を軽く触りながら、シート下に空気が入っていないか確認してください。

※もし空気が入っている場合、短時間であれば、一旦部分的にはがしてやり直すか、小さな部分であれば、針などで刺し、空気抜きを行ってください。



4. 交換手順について ※頻度が多いと想定する箇所のみ記載します

(2) 滑り止めシートKAの交換方法

※23年1月頃から表面仕様の見直しにより汚れがつきにくく、
また汚れがついても従来より落ちやすくなります。
以下に新旧の違いを記載します。



～22年12月末頃

<表面>



<裏面>



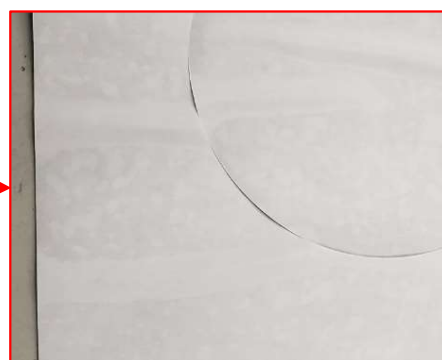
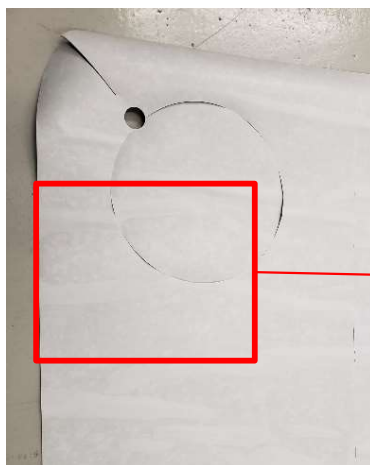
23年1月頃～

<表面>



※若干明るい

<裏面>



接着層と剥離紙の間に空気が入り込み、シワが発生

加工による影響で、接着層と剥離紙の間に空気を巻き込み、シワが発生しています。

→長期間在庫されると、空気に触れている箇所の接着能力が低下していきますので、ご購入いただいた際には速やかに交換作業をお願い致します。



4. 交換手順について ※頻度が多いと想定する箇所のみ記載します

(2) 滑り止めシートの交換方法 (交換部品⑨、⑩、⑪、⑫)

※2017年9月以降、滑り止めシートKAに仕様変更しています。本部品を交換する際、滑り止めシートKAに変更も可能です。



※可搬型車いす用スロープと同じ様な滑り止めシートを使用しています。
削れてしまうよりも汚れが落ちなくなって交換することがあります。



1. 交換する滑り止めシートを剥がしてください。

※シートが剥がしにくい場合、ドライヤーなどで温めると剥がしやすくなります。

(やけど注意)

※長く使われますと、糊残りがしてしまいます。



金属へらを差し込みながら、接着面の隙間を温め、へらでめくりはがすようにするのも効率的です。

※ベースプレートの金属面に傷がつくことをご了承ください。



2. 新しい滑り止めシートの裏面にある剥離紙を剥がしてからベースプレートに貼り付けてください。

※全ての滑り止めシートはカット済みです。

※剥がした跡（糊残り）があっても、そのまま貼り付け可能です。



4. 交換手順について

※頻度が多いと想定する箇所のみ記載します

(3) 樹脂部分の交換方法 (交換部品⑬、⑭)



※支柱キャップと支柱プレートは、樹脂なので、屋外に設置していますと、劣化します。設置環境によりますが、2年程度で色が白色になり、日当たりが良い場所ではひび割れる可能性があります。



1. 交換する部分の支柱とその隣の支柱の2箇所に使われている高さ調節固定ピンを外します。



2. 上部の手すりを持って、上にスライド支柱を引き抜きます。



3. 引き抜いた状態です。あとは、交換したい樹脂部分を上に引き抜いて交換してください。



4. 交換手順について ※頻度が多いと想定する箇所のみ記載します

(4)外支柱の交換方法 (交換部品⑯、⑰)



※外支柱、スライド支柱の両方とも、材料はアルミ製で表面をアルマイト加工処理しています。雨水等では表面に汚れが付きますが、サポステ等でふき取れます。しかし、靴などでぶつけると傷がついてしまいます。

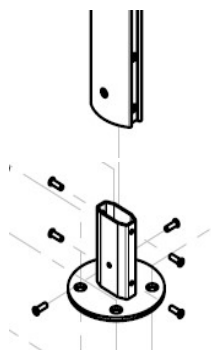
必要工具・・・プラスドライバー (JIS2番)



1. ③樹脂部分の交換方法で記載した状態まで作業してください。



2. 支柱プレートバーを外すと、支柱と固定プレートを接続しているボルト6箇所をプラスドライバーで外し、外支柱を上には抜いてください。
※硬い場合、電動ドリルドライバーで外してください。



3. 新しい外支柱には、ボルトもついているので、そのボルトを使って、先ほど逆の手順で取り付けてください。



4. 交換手順について ※頻度が多いと想定する箇所のみ記載します

(5)240短手すりの交換方法 (交換部品④)



※丸棒(ブラウン)は、雨水等による汚れは、中性洗剤などでふき取れば落ちます。耐候劣化も5年程では目視による違いは分かりにくいですが、しかし、接続されているブラケット同様に硬いもので接触すると、傷がついてしまいます。

必要工具・・・六角レンチ 4mm



1. エンド支柱ブラケットと可変支柱ブラケット部分の六角ボルトを六角レンチを回して外します。



2. 外れた状態です。新しい部品も左図の状態に初めからなっていますので、そのまま交換することになります。

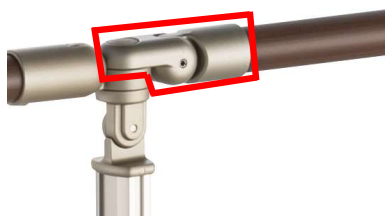
丸棒のみの交換はご案内しておりません。
ブラケットとの接続位置を合わせるのが難しいため、ご遠慮いただいております。
ご理解の程よろしくお願いいたします



4. 交換手順について

※頻度が多いと想定する箇所のみ記載します

(6) ブラケットの交換方法 (交換部品③⑨)



※ブラケット交換する際は、丸棒のねじ穴位置を変えてねじ締結してください。

必要工具・・・六角レンチ 4mm、電動ドリルドライバー、プラスビット(JIS2番)、メジャー



1. 支柱からブラケットがついた状態の丸棒を外し、可変支柱ブラケット部分のねじを両側とも外して、丸棒の端部からブラケットを外します。



※丸棒の両端部から外した不要なブラケットと使用済みねじは廃棄してください。



2. 交換するための新しいブラケットと、新しいねじ2本を準備し、ブラケットに丸棒を差し込みます。このときに既に空いている丸棒のねじ穴と同じねじ穴を使用しないように、丸棒を回転させてください。

※旧仕様から交換する場合は、両側とも新仕様のブラケットに交換してください。

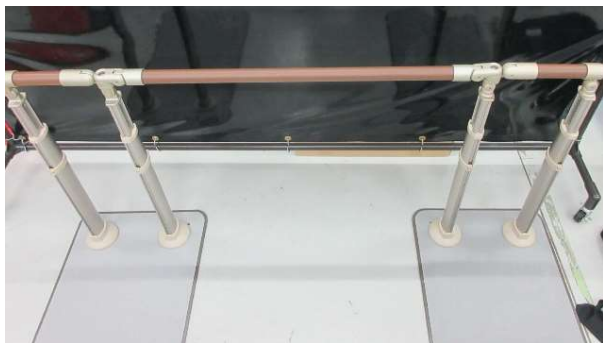


※外したときと同じねじ穴を使用すると、ねじの締め付け力が低下し、ねじゆるみや外れの原因になります。



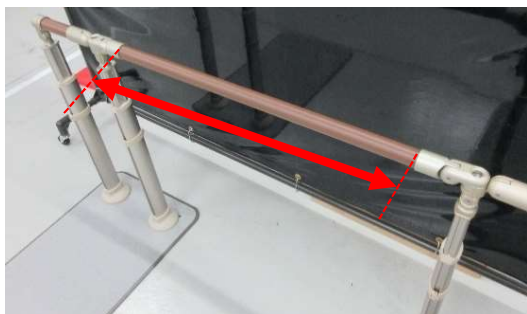
4. 交換手順について ※頻度が多いと想定する箇所のみ記載します

(6) ブラケットの交換方法 (交換部品③⑨)



3. 丸棒にねじ締結するために、組み立てた支柱やベースプレートに通常と同じように組み立てを行ってください。

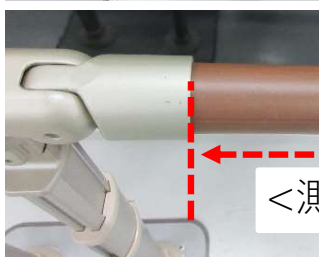
※ベースプレートは、平滑な場所に設置してください。



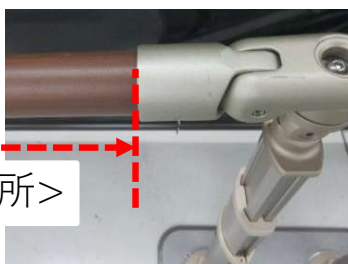
4. 丸棒にねじ締結する準備ができましたら、ブラケット間の距離を測定して適正な長さなのかご確認ください。

930 : 【735mm ± 2mm】

630 : 【435mm ± 2mm】



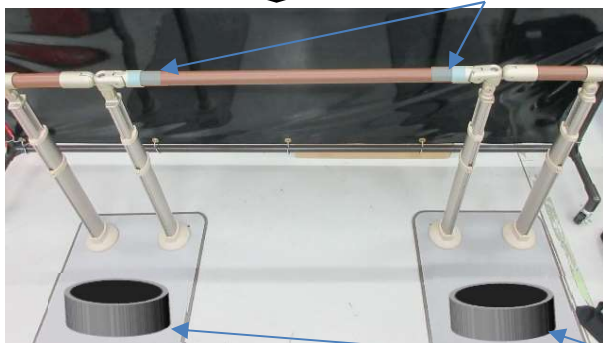
<測定する場所>



※長さが合わない場合、支柱とベースプレートを動かして調整してください。



テープなどで固定



5. 適正な長さに設定したら、丸棒がズレないようにテープなどで固定していただき、ベースプレートも動かないようにおもりなどで押さえてください。

おもりなどで動かないようにする





4. 交換手順について ※頻度が多いと想定する箇所のみ記載します

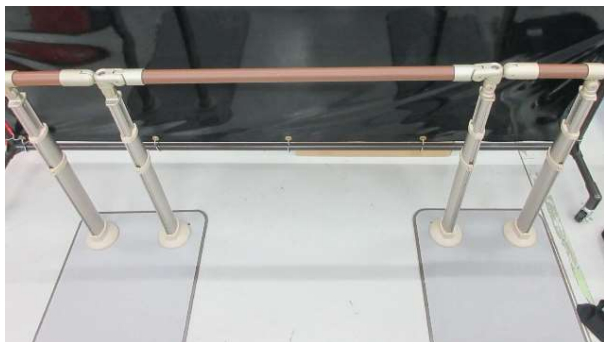
(6)ブラケットの交換方法 (交換部品③⑨)



6. 新しいねじを使用して電動ドリルドライバーで締結してください。
※固い場合は、下穴φ3.2を開けると作業しやすいです。



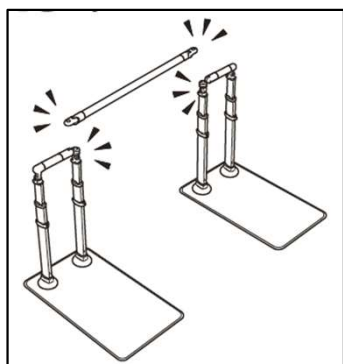
7. 同じ要領で反対側もねじ締結してください。



8. 下記の点をご確認ください。

- ・製品のガタツキはありませんか？
- ・ブラケットと丸棒が歪んでねじ締結されていませんか？

※両端部のブラケットが歪んで丸棒に取り付けた場合、製品が垂直/水平に設置できない、あるいは製品のガタツキの原因となります。



※製品を移動するときは、ブラケットの回転固定ボルトを外して別々に移動してください。



4. 交換手順について ※頻度が多いと想定する箇所のみ記載します

(7)半透明テープの交換方法

2020年9月以降の出荷分からスライド支柱の下部に半透明テープを追加します。
<切替時期は販売状況によって前後します。>



スライド支柱の下部に
半透明テープあり



市販されてるテープを購入していただければ、貼り替えが可能です。



日東電工(株)
ポリエチレンフィルムテープ
#4430 幅19mm



1. 交換する部分の外支柱とその隣の外支柱の2箇所に使われている高さ調節固定ピンを外します。



2. 上部の手すりを持って、上にスライド支柱を引き抜きます。



3. ポリエチレンフィルムテープを25mm程度にカットします。(支柱1本あたり4枚)



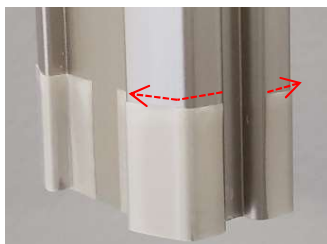


4. 交換手順について ※頻度が多いと想定する箇所のみ記載します

(7)半透明テープの交換方法



4. スライド支柱の最も下側にカットしたテープの剥離紙を剥がして、支柱に巻きつけるように貼り付けます。



※短側面の凸部から指で押し付けるように貼ってください。

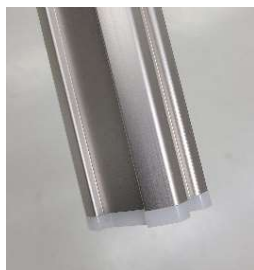


5. 同じ要領で全ての支柱に行ってください。



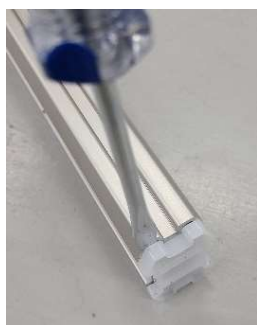
4. 交換手順について ※頻度が多いと想定する箇所のみ記載します

(8)ガタツキ防止キャップの交換方法



2021年12月の出荷分からスライド支柱の下部にガタツキ防止キャップを追加します。
<切替時期は販売状況によって前後します。>

必要工具・・・マイナスドライバー
ゴムハンマーorプラスチックハンマー



1. スライド支柱とガタツキ防止キャップの境目にマイナスドライバーを差し込み、取り外してください。



2. 交換するガタツキ防止キャップをスライド支柱にあてがい、ゴムハンマーなどで軽くたたきながら、押し込んでください。

※仕様変更前のスライド支柱にも取付可能です。同じ要領で作業してください。



5. 外観補修ついて

※頻度が多いと想定する箇所のみ記載します

①ブラケットの補修方法



※各丸棒接続部に使用しているブラケット（アルミ合金）は、設置環境にもよりますが、紫外線の影響により3年程度で色が落ち、シルバー色になってしまいます。

必要工具・・・六角レンチ 4mm、市販スプレー、飛散防止シートなど



1. 補修したいブラケットになるようにエンド支柱ブラケットと可変支柱ブラケット部分の六角ボルトを六角レンチを回して外します。

※丸棒は外さないでください。



2. 塗料が付着してはいけない箇所には、保護を行い、市販されているスプレーで補色します。

→専用塗料の準備をしておりません。

近似色ですが、市販塗料をご提案いたします。

各ブラケットのダイキャスト部材には、

「Holts製ホンダ車用グレースシルバー-M（H-42）カラーNO.YR526M」

のスプレータイプをお勧めしております。

部材全体に吹き付けてください。仕上げクリアは不要です。



左：新品、右：スプレー後





5. 外観補修について

※頻度が多いと想定する箇所のみ記載します

①ブラケットの補修方法



<参考>

「592270 歩行車リトルターン補修用スプレー」にて塗装してみました。



→歩行車リトルターンとの近似色なのですが、少し色味が濃く、光沢があるため、色味が異なります。
ブラケット全てを塗装すれば左図のような差異がはっきり分からなくなりますが、**本スプレーでの補修はおすすめしません。**

左：既存色、右：スプレー後



5. 外観補修について

※頻度が多いと想定する箇所のみ記載します

②丸棒の補修方法



※丸棒（ブラウン色）は、握る・つたって歩く程度では傷がつきにくいですが、金属等で叩くなど行くと左の画像のように薄ら傷となります。



必要工具・・・ウエスなど

1. 市販されている「木材補修クレヨン」にて補修します。

→専用塗料は準備しておりません。

近似色ですが、(株)カインズ様で販売されている高森コーキ(株)製「キズ消しクレヨン⑥」をご推奨いたします。



※カッターで削り取った箇所を実施してみると、若干凹凸感が残っていますが、色味は近似ですので目立ちにくくなります。





5. 外観補修について

※頻度が多いと想定する箇所のみ記載します

②丸棒の補修方法（つづき）

クレヨンで補色後、オスバンS（逆性せっけん）やサポステ（アルコール）で清拭しましたが、色が薄くなったりしません。



※屋外に設置後、補色部分が変色・ひび割れなどが発生しましたら、ご利用を中止し部材交換をお願いいたします。

※下記は検討した結果でNGと判断いたしました。



丸棒の樹脂に固着できず、すぐに剥がれてしまい補修出来ません



どのマーカーでも近似色では無かったため、NGとしました。

**5. 外観補修ついて**

※頻度が多いと想定する箇所のみ記載します

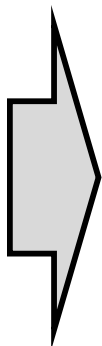
③滑り止めシートKAのお手入れ方法

※滑り止めシートKAは凹凸の隙間に入ると汚れが付着しやすいことがあります。

必要工具・・・高圧洗浄機など



より効率的にお手入れする際は、ホームセンターで市販されている高圧洗浄機でもお手入れ可能です。



※高圧洗浄機で行っても、シートがはがれやすくなったり、凹凸が取れたりすることは確認できません。

滑り止めシートKAとベースプレート端面保護カバーは樹脂製であるため、耐熱温度60℃以下となります。耐熱温度を超えた温水洗浄した場合、変色やはがれが起こることがありますので、止めていただくようお願いいたします。

※高圧洗浄機でも落ちないような黒染みや汚れの場合はシート自体の交換をお勧めいたします。



6. その他

注意事項

1) 保管について

- ①火気に近づけないこと、また高温になる場所に保管しないこと
- ②荷物を重ねたり、圧力が加わる状態で保管しないこと
- ③取扱説明書は本体と合わせて保管し、いつでも確認できるようにすること

2) お手入れについて

- ①次にあげるものではお手入れしないこと
 - ・シンナー ・クレゾール ・塩素系薬剤や熱湯をかけての殺菌、消毒
 - ・磨き粉 ・塩素系洗剤 ・酸、アルカリ性洗剤
 - ・タワシ ・研磨剤入りのスポンジ ・その他製品を傷つけるもの
- ②オゾンガス、ホルムアルデヒドガスを用いた消毒を行わないこと。

3) 廃棄について

- ①廃棄については各自治体の指示にしたがって処分、廃棄すること

●製品の仕様および価格は、予告なく変更する場合があります

**製品に関するご意見
・お問い合わせは**

お客様相談室 フリーダイヤル ☎ **0120-86-7735**
(受付時間) 祝祭日以外の月～金 10:00～16:00 (12:00～13:00はのぞく)

- ・お客様からいただいたお電話は、内容確認のため、録音させていただいております。
- ・個人情報は適切に管理し、ご相談への回答などの情報提供のみに利用いたします。

製造・発売元

アロン化成株式会社

ライフサポート事業部

〒105-0003 東京都港区西新橋2-8-6 住友不動産日比谷ビル8階

URL <https://www.aronkasei.co.jp/>

安寿

検索

26.10 919267-8